

## 「高速道無料化社会実験」に関するアンケート実施報告

「高速道無料化社会実験」に関するアンケートの実施結果を下記のとおりご報告いたします。

アンケートにご協力いただきましたe-モニターの皆さまに厚くお礼を申し上げます。

### アンケート概要

アンケート実施期間

平成22年8月4日から平成22年8月22日まで

回答者数 921名

対象者数 1,362名

回答率 67.6%

回答者属性

性別 【男性】499人 【女性】422人

年代別回答率 年代	【20代】	【30代】	【40代】	【50代】	【60代】	【70代以上】
回答者数	82名	203名	250名	205名	132名	49名
うち男性	38名	92名	123名	111名	95名	40名
うち女性	44名	111名	127名	94名	37名	9名

### アンケート結果

Q1について

Q1で無料化社会実験の認識を聞いたところ、「知っていた」と答えた方が870名(94.5%)、「知らなかった」と答えた方が51名(5.5%)であった。

「知らなかった」と答えた方の割合は、県南部や県北部の無料化路線から離れている市町で多かった

#### Q2について

Q2で伊勢自動車道の無料化区間の利用状況を聞いたところ、「利用したことがない」と答えた方が521名(56.9%)と一番多く、「月に数回利用」と答えた方が359名(39.0%)と次いで多かった。

#### Q3について

Q3で紀勢自動車道の無料化区間の利用状況を聞いたところ、「利用したことがない」と答えた方が715名(77.6%)と一番多く、「月に数回利用」と答えた方が183名(19.9%)と次いで多かった。

#### Q4について

Q2、Q3で無料化区間の利用したことがある方に利用目的を聞いたところ、「観光・レジャー」と答えた方が275名(47.6%)と一番多く、「業務」と答えた方が90名(15.6%)と次いで多かった。

#### Q5について

Q2、Q3で無料化区間の利用したことがある方に無料化前の移動手段を聞いたところ、「無料化前から今回の無料化区間を利用している」と答えた方が242名(48.9%)であり、「一般道を利用していた」と答えた方が231名(46.7%)とほぼ同じ割合であった。

#### Q6について

Q6で普段利用している車種について聞いたところ、「普通車」と答えた方が746名(81.0%)と一番多く、「軽自動車」と答えた方が154名(16.7%)と次いで多かった。

#### Q7について

Q7で無料化により外出の機会が増えたか(増えると思うか)について聞いたところ、「変わらない」と答えた方が566名(61.5%)で、逆に「増えた(増えると思う)」と答えた方が253名(27.5%)となった。「増えた(増えると思う)」と答えた方の割合は、「20代」「30代」の方が多かった。

#### Q8, Q9について

Q8, Q9で無料化社会実験開始前後の利用頻度を聞いたところ、「6箇月に1回以下」と答えた方が、開始前は515名(55.9%)であったのに対し、開始後は401名(43.5%)となり、「1箇月に2回以上」と答えた方が、開始前は83名(9.0%)であったのに対し、開始後は150名(16.3%)となり、利用頻度が増加しそうな意向があった。

#### Q10について

Q10で無料化による行動圏の変化について聞いたところ、「拡大した（と思う）」と答えた方が844名（66.0%）で、「変わらない」と答えた方が426名（33.3%）となった。「拡大した（と思う）」と答えた方は、「伊勢・志摩方面に拡大した（と思う）」と答えた方の割合が一番多かった。

#### Q11について

Q11で無料化の存続について聞いたところ、「エリアを拡大して続けるべき」と答えた方が384名（41.7%）に対し、「やめるべき」と答えた方が327名（35.5%）となった。

#### Q12について

Q12で無料化のメリットについて聞いたところ、「観光客が増える」と答えた方が583名（38.6%）、ついで「一般道路の渋滞が減る」「地域が活性化する」と答えた方が約370名（約25%）となった。

#### Q13について

Q13で無料化のデメリットについて聞いたところ、「インターなどでの渋滞が増える」と答えた方が643名（27.9%）、「税金の負担が大きい」と答えた方が463名（20.1%）となった。

#### Q14について

Q14で高速道路の利用メリットについて聞いたところ、「所要時間が短縮する」と答えた方が801名（39.1%）と圧倒的に多く、次いで「道路が走りやすい」「道がわかりやすい」となった。